

第4回「一日体験ボランティア」報告

平成28年12月9日（金）9：30～15：30

聖康会病院・デイケアぶどうの樹の皆さんと

「おやつづくりと茶話会をしましょう！」

今年度第4回の「一日体験ボランティア」は、今年も聖康会病院ぶどうの樹さんのご協力をいただいて、「おやつづくりと茶話会をしましょう！」というタイトルで行われました。

当日の活動者は、体験申込者5名、ボランティア支援センターから2名、「リボンの会」から1名、ぶどうの樹通所メンバーの方9名、ぶどうの樹職員4名の合計20名でした。

担当の山田さんから『デイケアぶどうの樹』は、精神科の病気のリハビリをするための施設です。こちらに通っている人たちは、1人暮らしをしている人もおれば仕事をしている人もいて、私達と同じように地域で生活している人たちです。月1回のおやつづくりは治療の一環として行っており、手順を踏むこと、設計通りに出来るかなど、日常生活を送る上で必要な協調性を養えるプログラムになっており、失敗はしても構いません。一緒にやるのが大事です」と説明がありました。

まず「さつまいもプリン」の班と「シフォンケーキ」の班と2班にそれぞれ分かれて、各自自己紹介をしました。その後にレシピを全員で読み上げ、おやつづくりの作業に取り掛かりました。

最初にこちらから「作業のメインはメンバーさんです」とお話していたこともあり、体験参加者はメンバーさんと一緒に作業手順を確認したり、代わる代わる作業を行ったり、全員で協力しながら行うようにしてくれていました。あちこち賑やかな話し声が響き、多少の失敗をしながらもおやつを完成させていきました。

職員の佐藤さんからは、「普段のメンバーさん達は、こんなに長い時間作業を続けられないのですが、今回はボランティアさんのお蔭で頑張っています」と嬉しいお話を伺いました。

シフォンケーキの焼きあげる作業と、さつまいもプリンの冷やす作業は職員の方をお願いして、全員で昼食をとりました。食事をしながらあちこちで話の輪が広がっていました。体験参加者の中には、以前同じような施設で働いていた方もおり、メンバーさんに積極的に話しかけて、普段おとなしいメンバーさんと普通に会話している様子がとても自然で、メンバーさんと一般の方が交流することで良い効果をもたらしていると感じました。

食後ゆっくりくつろいだ後は、自分達で作ったおやつをいただき、「美味しい！」という声があちこちで聞かれ、楽しい雰囲気の中に体験は終了しました。

最後に参加者全員が今日の感想を述べましたが、メンバーさん達からは「楽しく話ができて、またボランティアさんと会いたい」「ボランティアさんのお蔭でおいしくできました」等の感想があり、体験参加者からは「たくさん元気をもらいました。楽しかった。また参加したい」「本当に有意義な時間を過ごしました。」「利用者と体験参加者が自然な感じでした」等の感想がありました。

体験参加者はメンバーさんから元気をもらい癒されたことで、ボランティアって楽しいと感じ、今後のボランティアを始めるきっかけになっているように思いました。